

1. 広東省

1. 胡春華・省党書記が“深港通”の始動式に出席

●5日，“深港通”（深圳と香港の株式相互取引）が正式にスタートし、深圳市、香港両証券取引所で同時にオープニング・セレモニーが行われた。胡春華・省党書記、劉士余・中国証券監督管理委員会党書記が深圳取引所の式典に出席。馬興瑞・深圳市党書記、呉利軍・深圳取引所理事長が挨拶（12月6日付『南方日報』）。

2. 胡春華・省党書記、朱小丹・省長が馬昇昌・林芝市党書記一行と会談

●5日午後、胡春華・省党書記、朱小丹・省長が広州市で馬昇昌・チベット自治区林芝市党書記率いる党・政府代表団一行と会談。胡書記は次のように述べた。第13次5か年計画期間、広東省は中央の政策決定・段取りに基づき、責任感と使命感を更に強め、これまでと変わらずペアリング支援をしっかりと行い、民生・産業・知識面でのチベット支援を着実に実行するよう努め、中央から与えられた支援任務を全力でやり遂げる（12月6日付『南方日報』）。

●6日午後、胡春華・省党書記、朱小丹・省長が広州市で丁業現・チベット自治区常務副主席と会談し、広東省とチベット自治区のペアリング支援について意見交換を行なった（12月7日付『南方日報』）。

3. 黄龍雲・省人代常務委員会主任がマプト州議会議長と会談

●5日午後、黄龍雲・省人代常務委員会主任が、省人代・マカオ立法会・ポルトガル語諸国地方議会による交流会に出席するため広州市を訪れたモザンビーク・マプト州議会議長と会談（12月6日付『南方日報』）。

●6日～8日、広州市で省人代・マカオ立法会・ポルトガル語諸国地方議会による交流会が開催され、地方人代・議会による意見交換、経済・貿易、人文交流会議を行なった。何厚力（金偏に華）マカオ特別行政区首席行政長官が祝意を表し、黄龍雲・省人代常務委員会主任、賀一誠・マカオ立法会主席がそれぞれ挨拶を述べるとともに、基調講演を行なった（12月9日付『南方日報』）。

4. 袁宝成・副省長がアラブ首長国連邦（UAE）の建国記念レセプションに出席

●5日、袁宝成・副省長が在広州UAE総領事館の招きを受けて、建国記念レセプションに出席し挨拶。袁副省長は、広東省は友人であるUAEと共に、金融、石油・天然ガス開発、インフラ建設、電子・通信科学技術、観光等の分野における交流・協力を全面的に深めていきたいと述べた（12月6日付『南方日報』）。

5. 中国とマレーシアが生産能力協力ニュータウンを共同建設

●6日午前、ナジブ・マレーシア首相は今年第2回目となるジョホール州イスカンダル経済開発区のカントリー・ガーデン（碧桂園）による「一帯一路」沿線大型プロジェクト“フォレスト・シティ”を訪問し、黄惠康・在マレーシア中国大使等370数名の政財界の関係者と共に、中国・海外の大手企業（機関）36社の合同署名式に立ち会い、国際生産能力協力ニュータウンを共に建設していくこととなった。このたびの署名で、同経済開発区に進出する36社の生産総額は5兆元を超え、総市場価値は6兆元を超える。進出企業の中にはファーウェイ、シスコ、アクセンチュア、CSCEC（中国建設工程総公司）の海外事業部及び傘下の中建鋼構有限公司、ミデア、BOSCH（ドイツ）、ドイツ銀行アジア太平洋部門、中国銀行マレーシア支店等、フォーチュンのトップ500企業またはその傘下の企業が含まれている（12月7日付『南方日報』）。

※なお、本年3月、広東省の開発大手であるカントリー・ガーデンがジョホール海峡に人工島を開発する“フォレスト・シティ”の起工式が行われ、その際もナジブ首相が出席している。

6. 胡春華・省党書記がマックス・ポーカス在中国米国大使と会談

●7日午後、胡春華・省党書記が在中国米国大使と会談し、次のように述べた。広東省は米国との地方交流・協力を非常に重視しており、ここ数年双方の経済・貿易関係は継続的に強化されている人々の往来も日増しに密接になっており、協力を深める潜在力は大きい。ポーカス大使と在中国米国大使館、在広州米国総領事館が双方の交流・往来を積極的に推進し、より多くの協力プロジェクトが実施されるよう推し進め、より一層豊かな成果を結実させてほしい。何忠友・副省長等も同席（12月8日付『南方日報』）。

7. 朱小丹・省長が在中国イスラエル大使と会談

●7日午後、朱小丹・省長は在中国イスラエル大使との会談で、省政府を代表して同大使の再訪に歓迎の意を表し、6

日、教育部が批准し、広東・イスラエル理工学院が正式に設立されたことを伝えた。在広州イスラエル総領事も同席（1月28日付『南方日報』）。

8. 広東省と中国科学院が全面的な戦略的協力協定に署名

●8日、袁宝成・副省長と張亜平・中国科学院副院長がそれぞれ省政府と中国科学院を代表し、「第13次5か年計画期間における全面的な戦略的協力協定」に署名するとともに、指導グループ会議を開催した。胡春華・省党書記が署名に立ち会い、朱小丹・省長、白春礼・中国科学院々長が同会議に出席し講話を行なった（1月29日付『南方日報』）。

9. 朱小丹・省長がガボン大統領一行と会談

●9日午後、朱小丹・省長が汕頭市でガボンのアリー・ボンゴ・オンディンバ大統領一行と会談した。朱省長は胡春華・省党書記の委託を受け、省党委員会、省政府を代表し同大統領一行の訪問に歓迎の意を表し、次のように述べた。広東省は中国、ガボン両国関係の枠組みの下、このたびの大統領訪問を契機に、双方が経済・貿易・投資、資源エネルギー、インフラ接続、農業、観光、人文等の分野において相互に利益をもたらす協力を引き続き強化し、ウィンウィンを実現していきたい。在中国ガボン大使、何忠友・副省長等も同席（1月29日付『南方日報』）。

10. 陳小川・省人代常務委員会副主任がモーリシャスの男女平等相一行と会談

●9日、陳小川・省人代常務委員会副主任がモーリシャスのペロー男女平等相一行と会談し、陳副主任は一行の広州市訪問に熱く歓迎の意を表し、次のように述べた。将来的に両地域の女性たちが交流・協力するためのプラットフォームをつくり、相互訪問・交流、懇談・研究会、その他多様な方法を通じて、女性・児童、教育、文化、観光等の分野で交流・協力を深め、実務協力のための人的な基礎を築いていきたい（1月29日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 世界中国語メディア発展フォーラム・世界中国語新聞協会第49回年次総会が開幕

●5日、上記フォーラムならびに年次総会が開幕し、吳尚之・国家新聞出版ラジオ映画テレビ総局副局長、慎海雄・省宣伝部長、王冬梅・中華全国新聞工作者協会書記処書記、張曉卿・世界中国語新聞協会首席会長、徐咏虹・市宣伝部長等が開幕式に出席し挨拶。任学鋒・市党書記が代表者たちと会談し、次のように述べた。広州市の清潔な都市環境、開放的かつ包容力のある雰囲気、先進的な情報ネットワーク施設が皆さんに強い印象を与え、代表者の皆さんは身をもって同市の発展の活力、都市ガバナンスのレベルを感じていることと思う。同協会はこのたびの年次総会を契機に、広州の新聞業界との協力・交流を更に深めるとともに、同市で見聞きたことを、世界により一層知ってもらえるように十分に報道してもらいたい（1月26日付『広州日報』）。

2. 第3回広州アワードの開催

●7日午前、第3回広州国際都市リノベーション・アワード（“広州アワード”）、2016広州国際都市リノベーション大会、広州国際イノベーション祭の合同大会が開催され、馬培華・全国政協副主席が出席し、基調講演を行なった。任学鋒・市党書記、何忠友・副省長、温国輝・市長、宋敬武・中国人民対外友好協会副会長、都市・自治体連合（UCLG）主席等が出席し挨拶（1月28日付『広州日報』）。

3. 2016広州タワー科学技術大会の開催

●8日、任学鋒・市党書記が上記大会に出席し、グローバル・モバイル開発者大会ならびにインターネット・ハイレベルフォーラムに出席した一部の来賓（IDG、フォックスコン、クアルコム等）と懇談した（1月29日付『広州日報』）。

4. 広州市政協第12期党委員会の総括大会の開催

●9日、平欣光・市政協副主席率の上記大会が開催され、任学鋒・市党書記が講話を行い、蘇志佳・市政協主席が業務の総括を行なった。林元・元市政協主席も出席（1月29日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 許勤・市長が2016“未来情報通信技術サミット”に出席

●3日、北京市で2016“未来情報通信技術サミット”——5Gへのレベルアップ・スマートシティ市長フォーラムが開催され、李萌・科学技術部副部長、劉利華・工業・情報化部副部長が挨拶を行い、許勤・市長が同サミットに招かれ、基調講演を行なった（12月5日付『深圳特区報』）。

2. 馬興瑞・市党書記がマレーシア・マラッカ州対中ビジネス特使一行と会談

●6日午後、馬興瑞・市党書記が上記一行と会談し、現在、深圳市は「一帯一路」戦略を深く貫徹・実行しているところであり、全方位的な対外開放体制の構築を急いでおり、港湾、文化、観光等、重点分野におけるマラッカ州との交流・協力を積極的に推進し、中国・マレーシアの全面的な戦略的パートナーシップを促進するために積極的に貢献していくと述べた（12月7日付『深圳特区報』）。

3. 第15回香港・珠江デルタ工商界協力交流会の開催

●9日晚、「科学技術が未来の夢を叶え、深圳・香港が協力してウィンウィンを実現」と題する上記交流会が深圳市で開催され、梁振英・香港特別行政区長官、馬興瑞・市党書記、黄業斌・省人代常務委員会副主任、許勤・市長等が出席（12月10日付『深圳特区報』）。

4. 2016年レーザー加工、スマート製造の発展・趨勢に関するグローバル・サミットの開催

●10日、上記サミットが開催され、世界のレーザー加工、スマート製造における専門家、学者、企業家が宝安区に集まり、その発展について議論を交わし、レーザー加工産業の科学研究クラスター建設を計画した。馬興瑞・市党書記、許勤・市長が開幕式に出席するとともに、宝安国際レーザー加工設備産業拠点ならびに大族レーザー加工・スマート設備集団（国家級のイノベーション・パイロット企業）の除幕式が行われ、陳彪・副市長が挨拶（12月11日付『深圳特区報』）。

5. 中国・ベトナム（深圳・ハイフォン）経済貿易協力区の建設工事がスタート

●9日、ベトナム・ハイフォン市で上記協力区の建設工事が全面的にスタートした。これは深圳市初となる海外での産業発展の拠点（「一帯一路」のモデルプロジェクト）で、“深圳スマート製造”のブランドを示すものであり、海外への影響力を拡大していく上で重要なプラットフォームである。洪小勇・在ベトナム中国大使、黎文成ハイフォン市党書記、阮文松ハイフォン市長、陳彪・深圳市副市長が起工式、署名式に出席（12月11日付『深圳特区報』）。